

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年 11月 1日 様式3

計画の名称	6 交通・物流拠点へのアクセス計画（交通拠点連携集中支援）			
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）	交付対象	静岡市	
計画の目標				

物流機能の再編・強化を行っている国際拠点港湾清水港と基幹道路IC等を連絡するアクセス道路の整備により、現道の渋滞解消とともに物流交通の円滑化・効率化を図り、地域経済の更なる発展など生産性の向上を目指す

計画の成果目標（定量的指標）

- ・清水いはらICから清水港への所要時間を8分（R4）短縮
- ・静岡IC、日本平久能山SICから清水港への所要時間を5分（R4）短縮

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

① 基幹道路IC等から清水港までの所要時間の短縮 清水いはらICから清水港への所要時間の短縮時間＝（整備前の所要時間）－（整備後の所要時間）	当初現況値 （H29当初）	中間目標値	最終目標値 （R4末）	備考
	0分		8分	
② 基幹道路IC等から清水港までの所要時間の短縮 静岡IC、日本平久能山SICから清水港への所要時間の短縮時間＝（整備前の所要時間）－（整備後の所要時間）	0分		5分	
③				

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,659百万円	A	2,659百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価（中間評価）の実施時期

市内部（事業関係課による横断的な検討体制）において評価を実施した後、学識経験者等の第三者で構成される静岡市公共事業評価委員会による審査を実施する。

令和3年度

公表の方法

委員会での審議結果等を市のホームページに掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 道路事業				直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H30	H31	H32	H33	H34		
A01-001	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	都道府県道	改築	（主）清水富士宮線 庵原～伊佐布	バイパス L=2.90km	静岡市						2,427	
A02-002	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	国道	改築	（国）150号 久能拡幅	現道拡幅 L=4.20km	静岡市						232	
																・・・	
																・・・	
																・・・	
																・・・	
小計（道路事業）												2,659					

A2 港湾事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	港湾 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積・水深等）	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H●	H●	H●	H●	H●		
																・・	
																・・	
小計（港湾事業）												0					
合計												2,659					

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H●	H●	H●	H●	H●		
															・・	
合計												0				

交通・物流拠点へのアクセス計画の計画概要

■ 事業箇所図

